

経営比較分析表

岐阜県 池田町

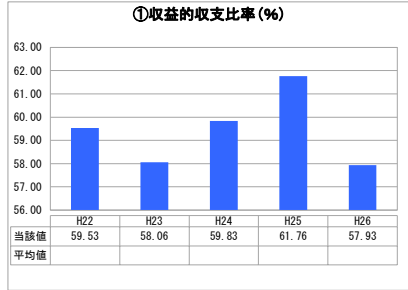
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	39.95	90.06
1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)			
4,924			

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,690	38.80	636.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,855	4.01	2,457.61

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

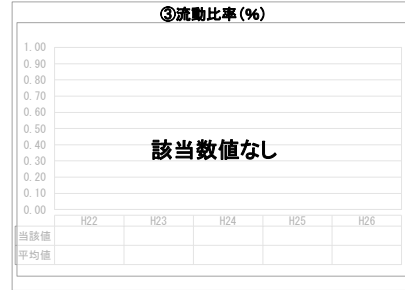
1. 経営の健全性・効率性



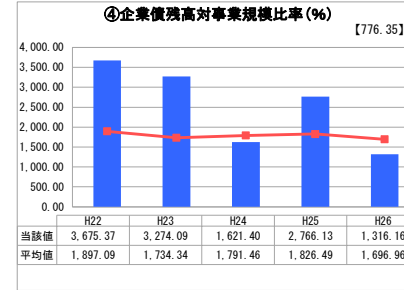
「単年度の収支」



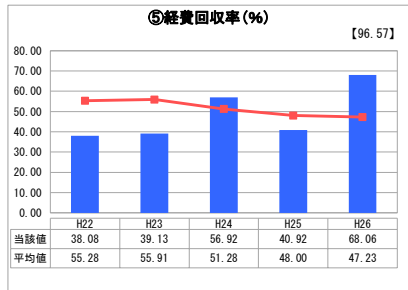
「累積欠損」



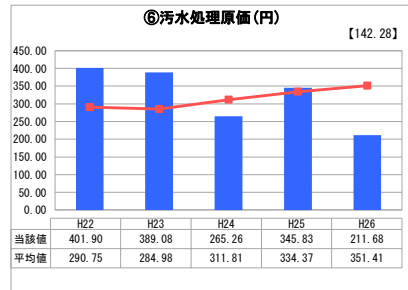
「支払能力」



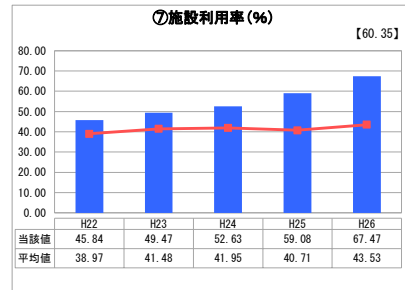
「債務残高」



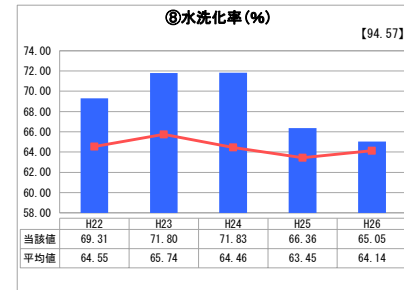
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

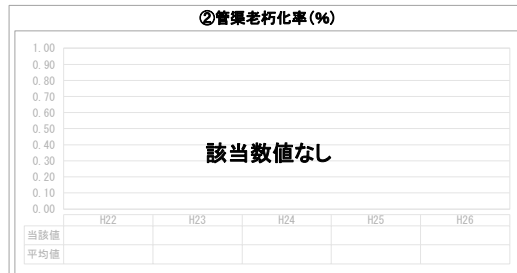


「使用料対象の捕捉」

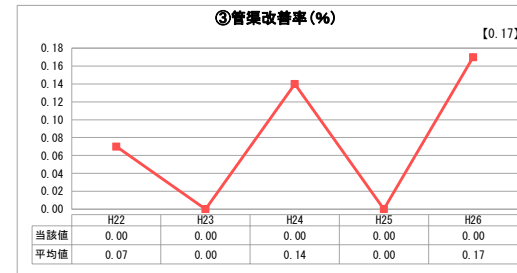
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

整備途中であることから、建設改良費に係る地方債償還金に充てる割合が大きいためこのような比率となっている。今後、健全性を確保するために接続率向上を目指す。
施設利用の実績より、今後の計画を立てているため、効率性は予定通りであると言える。

2. 老朽化の状況について

平成9年度に事業着手し、現在整備を進めているため、施設がまだ比較的新しいことから、老朽化は平成45年以降の問題となる。しかしながら、電気・機械設備等は早く更新時期を迎えるため、更新計画とともに長寿命化計画も検討する。

全体総括

現在、整備途中であるため、まだ投資の時期である。実績に基づく増設計画や、将来に向けた老朽化に伴う改築等の財源確保なども見据えながら、経営戦略を早期に策定することにより、持続可能な経営体制を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。